

大正十三年八月七日

東洋來會津の事、喜び難いがまことに思ひ、おつもひす  
る。

さうして來れ出部の當社を興辦したる志士をも浦山ふる水寺城内  
に立派な本店を起立し、鐵道より近づく市役場前にて、其の裏面に  
當社の新用意入力の「米騒動」の標をふる浦山一人の娘妻難  
の同士、萬福を賜ひア一人ひとりの御志を難舞音を爲難可ち  
と御慰めす。その御音聞ゆる想えり。當日御幸ひ日曜日であるが  
半引を盡る所を少しお詫びを要へア本番の日曜日御開會合ひ。并半  
日の難舞音御志を染ひア難舞會を諦じて來れ。或く今半引で難  
舞を終り乍ら御見の日を志感されや。

〉大剛別の幕音聞了式。

財團法人協調會大阪支所

▲ 日 時・・・・八月十日午后六時

▲ 場 所・・・北區上福島北一丁目痛快社（金喰道明方）

注意、市電淨正橋筋（福島中二丁目）下車、大通りを北へ！  
北へ！福島北一の交番前を右（東）へ約一丁ばかり行くと赤  
いポストがある。そこを左（北）へ真直ぐに行くと廣場に出  
る。此の廣場に出る手前の右（東）角が痛快社である。

▲ 會 費・・・は取らぬツモリですが、五錢か拾錢ほど用意して  
来て下さい

大正十三年八月七日

米騒動記念第三回納涼會發起人

八月十日午后七時ヨリ午后十時ニカケテ該納涼會ニ出席セウト思  
ツテ金喰宅ニ來タ連中ハ二十二名デアツタ。  
彼等ハ金喰宅ニ來ルヤ否ヤ臨場ノ警官ノ爲ニ福島署ニ社致サレタ  
ガ其ノ中十六名ハ檢束サレ他ノ六名ハ説諭ノ上放還サレタ。